



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第3巻第8号) 編集後記・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第3巻第8号) 編集後記・購読要項・投稿内規
. 泌尿器科紀要 1957, 3(8): 540-540

ISSUE DATE:

1957-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111487>

RIGHT:

泌尿器科紀要

第 3 卷 第 8 号

昭和 32 年 8 月

綜説 所謂特発性腎出血の問題	原 田 彰	481
尿石溶解の研究 (第 5 報追加)		
血清及び尿中グルクロン酸の定量	森 幸 夫	483
尿石形成の機転に関する一考察	森 幸 夫	487
泌尿器科領域において偶発した肺栓塞症について		
酒徳治三郎・杉山喜一・片村永樹・山崎巖		494
乳糜尿症の腎周囲リンパ管遮断術について (特に Sky Blue の使用経験について)		
古野干城・田中正		500
腹部静脈撮影の応用	三浦高道・中 信也・地土井襄爾	506
泌尿器科領域の出血に対する AC-17 使用経験	仁平寛巳	512
新尿路造影剤 Hypaque の使用経験	広根孝衛・松本 鏖	519
男子の性的神経症に対する Chlorpromazine (Wintermin) 療法		
後藤 薫・酒徳治三郎		525
学会抄録 第 7 回中部地方会		530
編集後記・購読要項・投稿内規		540

A Study on the Dissolution of Urinary Calculi (Postscript of the 5th Report).		
Determination of Glucuronic Acid in Human Serum and Urine.	Y. Mori	483
A Study on the Mechanism of the Formation of Urinary Calculi.	Y. Mori	487
Pulmonary Embolism in Urological Patient.		
J. Sakatoku, K. Sugiyama, E. Katamura and I. Yamasaki		494
On the Perirenal Blocking Operation of Lymphatic Canal in Chyluria (Especially on the Experience of Use of Sky Blue).		
T. Furuno and T. Tanaka		500
Application of Abdominal Venography.		
T. Miura, N. Michinaka and J. Chidoi		506
Clinical Use of AC-17(Adrenochrome Derivative) in Urological Surgery.	H. Nihira	512
Use of Hypaque in Urography.	T. Hirone and R. Matsumoto	519
The Effect of Chlorpromazine (Wintermin) on Male Sexual Neurosis.		
K. Goto and T. Sakatoku		525
Society Transaction.		530

編集後記

文部省科学研究費が多少でもあるのとならないのでは研究の便宜に大いに影響がある。たくさんある人と全くない人とは雲泥の差である。重点的に配分するとの考えと少額ずつでも多人数に配分するとの考えとがあるが、どちらにも意義はある。配分決定の実情や機構はよく知らないが、これは極めて公的な性格を持つていべきものと考えられる。従つて泌尿器科関係に限つて云うならば、総合、試験及び各個研究の全般に亘つてテーマ、金額、担当者は、なるべく多くの泌尿器科関係者が賛成し納得の出来るものであるべきは当然である。しかし配分責任者となればどこに重点を置くか、どの様に配分するかと云うことはなかなかむずかしいであろう。ともあれこれは学会にとつて甚だ重要な事柄である。



健康保険問題はわれわれ大学人もよく研究するべきであるがなかなかそのいとまがない。政治的、社会的、経済的、その他種々の事情が錯綜して複雑を極めており、われわれには不明の点が多い。最近には法律的に大きな変革が加えられたようであるが、これを大学病院に居る自分から見ると、最も大きな不合理と思われる点は、大学病院を一般保険医療機関と同一の第一号の範囲内に入れたことである。そのように分類した理由としては、取扱う患者が一般被保険者であるからとしている。これは取扱う患者だけで病院の種類を決めているのであつて、大学病院が医育、研究機関である云う特殊性を全く考慮していないか或は無視している点が納得出来ない。しかし今回の変革の意図の一つは大学病院の特殊性を抹殺するにあるとも考えられるから、このような不合理が生ずるのは当然であると云えよう。大学病院を一般医療機関と同じにしてしまうことは考えれば甚だ重大な問題を含んでいる。例えば臨床教授は保険で許されているだけの検査法や治療法を学生に講義し、医局員を指導するのであるか、世上往々大学病院のアカデミズムを攻撃する向きもあるが医学本来の使命を考えるならば、現在の保険制度に大学病院が全面的に合流するのがよいかわるいか、おのずから明かであろう。

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。
2. 会員は年間料金 1,000円を前納する。1冊料金100円、払込みは振替口座番号京都 4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行うが希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部